水性　一液

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

超低汚染・超耐候無機複合ふっ素樹脂塗料

スーパーセラタイトF シリーズ

SUPER CERATIGHT F SERIES

エスケー化研

水性　一液

超低汚染・超耐候無機複合ふっ素樹脂塗料

スーパーセラタイトF

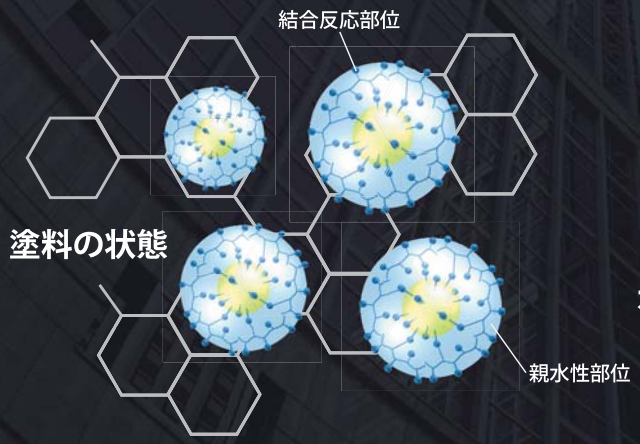
超低汚染・超耐候無機複合弾性ふっ素樹脂塗料

弾性スーパーセラタイトF

無機複合で更なる進化を遂げたふっ素樹脂塗料

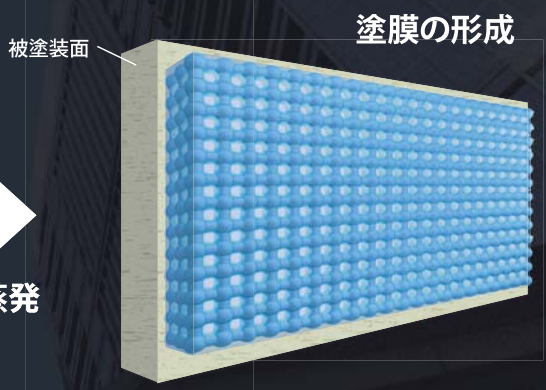
近年、建物の高層化は進み、大都市では超高層ビル、超高層マンションが増加しています。
これらの高層建築物は頻繁に塗り替えることもできないため、建物を保護する塗料は高耐久塗料によるメンテナンスサイクルの長期化や汚れにくさが求められます。
スーパーセラタイトF シリーズ は、無機複合ふっ素樹脂塗膜により超耐候性を示すとともに塗膜表面は親水性を示し、超低汚染機能を発揮します。従来にない卓越した耐候性、低汚染性の次世代型塗料は、高層ビル、マンションへの塗り替えに最適です。

有機／無機特殊ハイブリッド塗膜による超低汚染・超耐候メカニズム



反応硬化形無機複合特殊ふっ素樹脂エマルション

水の蒸発



有機・無機特殊ハイブリッド塗膜

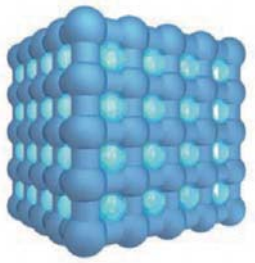
親水性を有する反応硬化形無機複合特殊ふっ素樹脂エマルションは、表面が親水性となる強靭な有機・無機特殊ハイブリッド塗膜を形成し、超低汚染かつ超耐候の性能を発揮します。

超耐候性塗料が、紫外線・水・熱等から外壁を守り、メンテナンスサイクルの長期化に貢献します。

超耐候性

Mechanism 1

無機(セラミック)の部分は、Si-O結合、有機部分はふっ素樹脂の結合による高い結合エネルギーを有し、3次元的に強固に結び付くことによって緻密な表面を形成し、卓越した耐候性を示します。



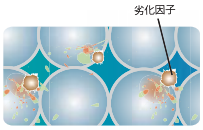
Mechanism 2

特殊設計のハイブリッド樹脂塗膜は塗膜の劣化を促す劣化因子の発生を抑制するとともに光安定化技術により劣化因子を補足します。それにより、超耐候性を示します。

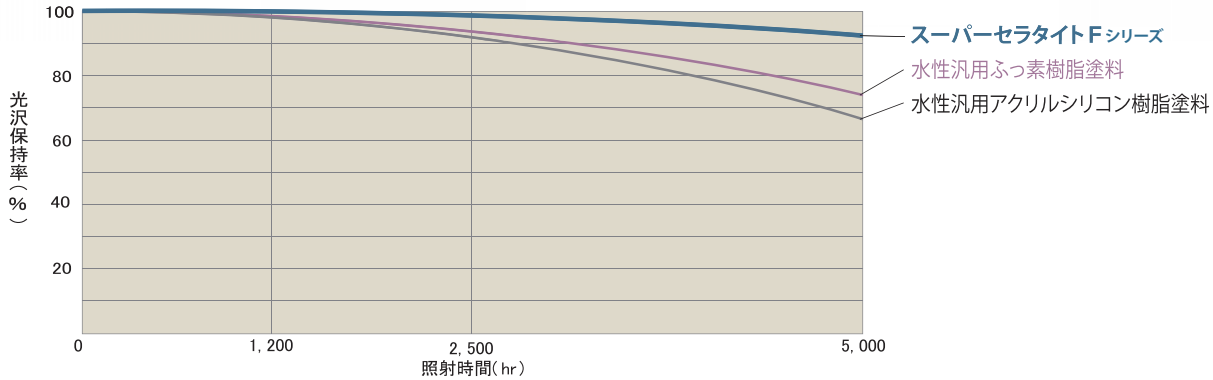
Block and Trap

劣化因子の発生

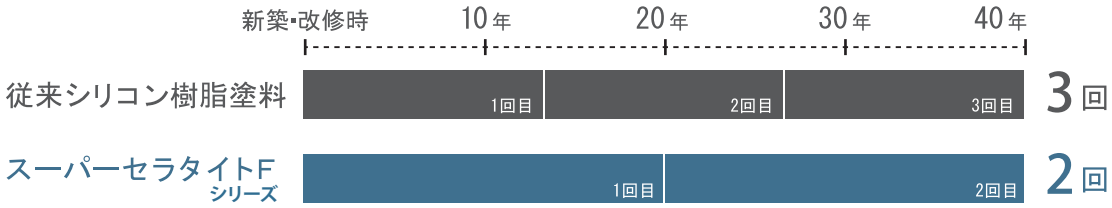
紫外線、酸素、水等の影響で劣化因子が発生し、塗膜の劣化を促す。



■促進耐候性試験(キセノンランプ)



■塗り替えサイクルの目安



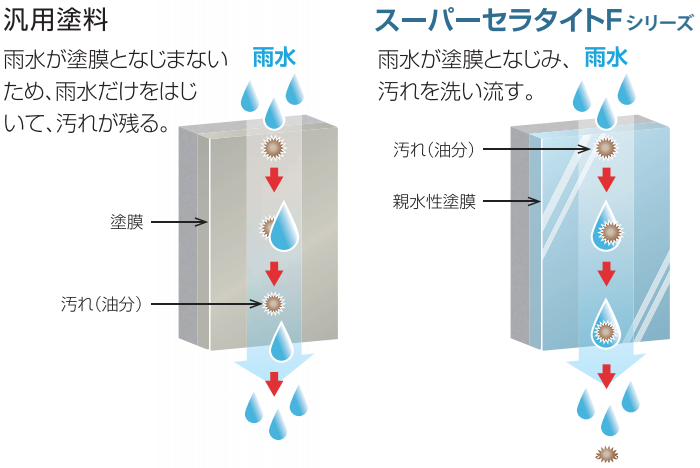
※塗り替え年数は目安です。建物の立地条件、環境等によって異なります。また、塗り替えに関するコスト等は下地の劣化状況によっても異なります。

塗膜表面は親水性のため、
雨による汚染除去効果が期待できます。

超低汚染性

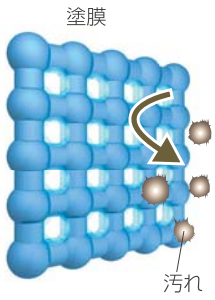
Mechanism 1 親水性

親水性部位を有する特殊ふっ素樹脂エマルションにより、塗膜表面は親水性を示します。汚れが付着しても親水性であるため雨により徐々に除去され、長期に亘り優れた超低汚染性を発揮します。



Mechanism 2 緻密な塗膜

高い架橋密度を示す緻密な塗膜表面は、塵やほこりを寄せつけず、汚れの定着を防ぎます。



Mechanism 3 低帯電性

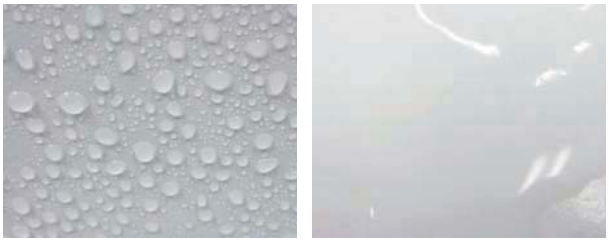
塗膜表面に帯びる静電気を低減することにより、大気中の排気ガスや粉塵などの汚染物質の付着を抑制します。

■屋外暴露６ヶ月

汎用塗料　　スーパーセラタイトF

スーパーセラタイトFシリーズは長期に亘り汚れの定着を防ぎます。

■水のなじみやすさ



汎用塗料　　スーパーセラタイトF

スーパーセラタイトFシリーズは塗膜表面が親水性になるため、水がなじみやすく汎用塗料と比べ汚れが落ちやすい。

その他特長

防かび・防藻性	特殊設計により、かびや藻等の微生物汚染に対して強い抵抗性があります。
ハンドリング性	一液タイプであるため材料の計量、調合、攪拌等の煩わしい作業を省略でき、安定した性能を提供します。
安　全　設　計	水性であるため、溶剤中毒や火災の心配も少なく、作業環境の向上に役立ちます。
防　水　性 （弾性スーパーセラタイトＦのみ）	主材に弾性系の材料を使用する場合、躯体のひび割れに対し、優れた追従性を示し、雨水の浸入を防ぎます。

荷　姿

スーパーセラタイトＦ（艶有り、半艶、３分艶）
16kg 石油缶（標準塗坪 88~145 ㎡）
4kg 缶（標準塗坪 22~36 ㎡）
スーパーセラタイトＦ中塗材
16kg 石油缶（標準塗坪 94~145 ㎡）
4kg 缶（標準塗坪 23~36 ㎡）
弾性スーパーセラタイトＦ（艶有り、半艶、３分艶）
16kg 石油缶（標準塗坪 88~145 ㎡）
4kg 缶（標準塗坪 22~36 ㎡）
弾性スーパーセラタイトＦ中塗材
16kg 石油缶（標準塗坪 94~145 ㎡）
4kg 缶（標準塗坪 23~36 ㎡）
水性弾性サーフエポ
16kg 石油缶（標準塗坪 10~53 ㎡）
水性ミラクシーラーエコ（クリヤー・ホワイト）
15kg 石油缶（標準塗坪 115~150 ㎡）
エスケー弾性プレミアムフィラー
15kg 石油缶（標準塗坪 15~75 ㎡）
レナキャスト主材
20.6kg セット（標準塗坪 12~15 ㎡）
レナフレンド主材
20kg 石油缶（標準塗坪 7~9 ㎡）

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

用　途

- ●商業ビル・マンションの内外装
- ●店舗、事務所、工場、倉庫などの内外装
- ●学校など公共施設の内外装

危険情報と安全対策

製品の取り扱いはそれぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。特に、★印のついている製品は溶剤形のため、下記の点にご注意ください。

1. **引火性の液体のため、火気厳禁です。**
2. **有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは、送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。**
3. **施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。**

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

標準施工仕様

■新築（平滑仕上げ）

(23℃)

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/㎡）	塗回数	間隔時間(hr) 工程内	間隔時間(hr) 工程間	間隔時間(hr) 最終養生	備考
素地調整 ※1		●下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ●付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。							
1	下塗り ※4、5、6、7	水性ミラクシーラーエコクリヤー	既調合	0.10～0.13	1	—	2以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600～1000ml/分 パターン幅:25～30cm
2	中塗り ※10、11	スーパーセラタイトF中塗材	100	0.11～0.15	1	—	2以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600～1000ml/分 パターン幅:25～30cm
		清水	0～10 ※8						
3	上塗り ※10	スーパーセラタイトF	100	0.11～0.15	1	—	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600～1000ml/分 パターン幅:25～30cm
		清水	0～10 ※8						

■新築（吹付タイル仕上げ）

(23℃)

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/㎡）	塗回数	間隔時間(hr) 工程内	間隔時間(hr) 工程間	間隔時間(hr) 最終養生	備考
下地調整 ※1		● 下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ● 付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。							
1	下塗り ※4、5、6、7	水性ミラクシーラーエコクリヤー	既調合	0.10～0.13	1	—	2以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600～1000ml/分 パターン幅:25～30cm
2	主材塗り	レナキャスト主材 主剤	100	1.3～1.7	1～2	2以上	吹放し 16以上 凸部処理 0.5以内	—	タイルガン 口径:6.5～10mm 圧力:329～588kPa (4～6kgf/㎠)
		レナキャスト主材 硬化剤	3						
		清水	0～2	–					
(3)	凸部処理 ※9	プラスチックローラーに塗料用シンナーAを付けて凸部を押さえる。				—	16以上	—	—
4	中塗り ※10、11	スーパーセラタイトF中塗材	100	0.11～0.17	1	—	2以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800～1000ml/分 パターン幅:25～30cm
		清水	0～10 ※8						
5	上塗り ※10	スーパーセラタイトF	100	0.11～0.18	1	—	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800～1000ml/分 パターン幅:25～30cm
		清水	0～10 ※8						

■新築（弾性吹付タイル仕上げ、防水形複層塗材Ｅ）

(23℃)

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/㎡）	塗回数	間隔時間(hr) 工程内	間隔時間(hr) 工程間	間隔時間(hr) 最終養生	備考
下地調整 ※1		● 下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ● 付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。							
1	下塗り ※4、5、6、7	水性ミラクシーラーエコクリヤー	既調合	0.10～0.13	1	—	2以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600～1000ml/分 パターン幅:25～30cm
2	主材塗り ※12 (基層塗り)	レナフレンド主材	100	1.5～1.8	1	—	3以上	—	リシンガン 口径: 4～6mm 圧力: 490～686kPa (5～7kgf/㎠)
		清水	3～5	–					
3	主材塗り ※12 (模様塗り)	レナフレンド主材	100	0.7～0.9	1	—	吹放し 18以上 凸部処理 0.5以内	—	タイルガン 口径:6.5～10mm 圧力:329～588kPa (4～6kgf/㎠)
		清水	0～2	–					
(4)	凸部処理 ※9	プラスチックローラーに塗料用シンナーAを付けて凸部を押さえる。				—	18以上	—	—
5	中塗り ※10、11	弾性スーパーセラタイトF中塗材	100	0.11～0.17	1	—	2以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800～1000ml/分 パターン幅:25～30cm
		清水	0～8 ※8						
6	上塗り ※10	弾性スーパーセラタイトF	100	0.11～0.18	1	—	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800～1000ml/分 パターン幅:25～30cm
		清水	0～10 ※8						

標準施工仕様

■改修（下地：モルタル、コンクリート　既存塗膜：吹付タイル、リシンなど）

(23℃)

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/㎡）	塗回数	間隔時間(hr) 工程内	間隔時間(hr) 工程間	間隔時間(hr) 最終養生	備考
下地調整 ※1		●旧塗膜に脆弱層がある場合は、サンダー及び皮スキ、ケレン棒等を用いて除去し、ミラクファンドKC-1000 で段差修正後、パターンの復元を行ってください。なお、セメント系の下地調整塗材（ミラクファンドKC-1000、ミラクファンドKC-2000、ミラクファンドKC-3000　など）を用いる場合は、下地調整後、水性ミラクシーラーエコなどの下塗材を塗付してください。●高圧水洗（5～15MPa）にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れ等を除去してください。							
1	下塗り（薄付仕上げ） ※2、3	エスケー弾性プレミアムフィラー	100	0.20～0.50	1	—	3以上	—	ローラー、刷毛
		清水	5～8	—					
1'	下塗り（厚付仕上げ） ※2、3	エスケー弾性プレミアムフィラー	100	0.5～1.0	1	—	4以上	—	M-9 ローラー（マスチックローラー） リシンガン 口径: 4 ～ 5mm 圧力:392～588kPa （4～6kgf/cm²）
		清水	2～8	—					
2	中塗り ※10、11	スーパーセラタイトF中塗材	100	0.11～0.17	1	—	2以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800～1000ml/分 パターン幅:25～30cm
		清水	0～10 ※8						
3	上塗り ※10	スーパーセラタイトF	100	0.11～0.18	1	—	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800～1000ml/分 パターン幅:25～30cm
		清水	0～10 ※8						

■改修（下地：モルタル、コンクリート　既存塗膜：弾性吹付タイルなどの弾性系下地）

(23℃)

工程		材料	調合（重量比）	所要量（kg/㎡）	塗回数	間隔時間(hr) 工程内	間隔時間(hr) 工程間	間隔時間(hr) 最終養生	備考
下地調整 ※1		●旧塗膜に脆弱層がある場合は、サンダー及び皮スキ、ケレン棒等を用いて除去し、ミラクファンドKC-1000 で段差修正後、パターンの復元を行ってください。なお、セメント系の下地調整塗材（ミラクファンドKC-1000、ミラクファンドKC-2000、ミラクファンドKC-3000　など）を用いる場合は、下地調整後、水性ミラクシーラーエコなどの下塗材を塗付してください。●高圧水洗（5～15MPa）にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れ等を除去してください。							
1	下塗り（薄付仕上げ）	水性弾性サーフエポ	100	0.3～1.0	1～2	3以上	3以上	—	ローラー、刷毛
		清水	6～10	—					
1'	下塗り（厚付仕上げ）	水性弾性サーフエポ	100	0.8～1.5	1～2	3以上	6以上	—	M-9 ローラー（マスチックローラー）
		清水	3～5	—					
2	中塗り ※10、11	弾性スーパーセラタイトF中塗材	100	0.11～0.17	1	—	2以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800～1000ml/分 パターン幅:25～30cm
		清水	0～8 ※8						
3	上塗り ※10	弾性スーパーセラタイトF	100	0.11～0.18	1	—	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800～1000ml/分 パターン幅:25～30cm
		清水	0～10 ※8						

※ 1. 下地の状態によりシーラーや目荒しが必要な場合があります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
※ 2. この他、水性ソフトサーフエポ（16kg石油缶）、水性ソフトサーフＳＧ（16kg石油缶）もご使用いただけます。
※ 3. 使用する器具により、塗回数や所要量が異なる場合があります。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。
※ 4. 希釈しますと付着力や性能低下などの原因となりますので、希釈は絶対にしないでください。
※ 5. 下塗りにはこの他、白色タイプの水性ミラクシーラーエコホワイト（15kg石油缶）もご使用いただけます。
※ 6. 水性ミラクシーラーエコ（クリヤー・ホワイト）は、他の水性塗料が混ざるとゲル化することがあります。他の材料との混合や、刷毛、ローラー、エアレスなどの塗装器具の共用は避けるとともに、同じ洗い水での塗装器具の洗浄は行わないでください。
※ 7. 押出成形セメント板、GRC板などには下塗材として★エスケーハイブリッドシーラーEPO(15kgセット)、★マイルドシーラーEPO（クリヤー・ホワイト、14kgセット）または★ミラクシーラーEPO（15kgセット）をご使用ください。また、軽量PC部材への施工は避けてください。
※ 8. スーパーセラタイトＦ、スーパーセラタイトＦ中塗材、弾性スーパーセラタイトＦの清水での希釈率は、スプレー塗り時で「5～10」、刷毛・ローラー塗り時で「0～10」となります。弾性スーパーセラタイトＦ中塗材の清水での希釈率は、スプレー塗り時で「4～8」、刷毛・ローラー塗り時で「0～8」となります。また、希釈率は、色目及び気温により変化することがあります。ご了承ください。
※ 9. 灯油など、他の材料の使用は絶対に避けてください。
※10. 中塗材、上塗材の希釈率は、試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈率にて使用してください。なお、希釈率は色目び施工時の気温により変化することがありますのでご了承ください。
※11. 中塗材が塗装されていないと、剥離や性能不良の原因となりますので、中塗材の塗り残しがないように塗装してください。
※12. この他、レナフレンドローラー用主材（20kg石油缶）もご使用頂けます。

注）ALC下地の場合、下地調整材C-2（ミラクファンドKC-2000、カケンセメントフィラーなど）で、下地調整を行ってから施工してください。
注）凹凸が小さく吸い込みが少ない下地の塗り替えの場合は所要量が少なく、吹付けタイル下地等凹凸が大きく吸い込みが多い下地の塗り替えの場合には所要量が多くなります。また、規定所要量を厳守してください。

施工上の注意事項

○濃色や原色に近い色彩は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性のある部位への施工は避けてください。
○上塗りにイエロー、レッド、ブルー、グリーン系など彩度の高い色目を塗装する場合は、隠ぺい性を高めるため、予め隠ぺい性の良い共色を塗装してください。
○艶調整品（艶有り以外の半艶、3分艶など）は、被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なって見える場合があります。また濃い色目になると、ローラー塗装時に塗継ぎ箇所で艶むらを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。
○施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。特に、傾斜壁の下端部、笠木などの水切りのない部位、窓廻りで水切りが不十分な場合、汚れが溜まりやすい目地の下部、雨がかからない部位などは、注意が必要です。
○上塗材はむらなく均一に塗付してください。低汚染機能を発揮するためには、塗付量の確保が重要な事項です。特に凹部に塗り残しができないよう、注意してください。
○上塗材は所定の乾燥時間（最終養生時間）を厳守してください。施工後、塗膜が乾燥するまでの時間内に降雨などにより、塗膜表面が長時間、水分がかかった状態になりますと、所定の低汚染機能が発揮されない場合があります。低汚染機能は乾燥後の塗膜で発揮されるため、乾燥過程で降雨などが予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に雨が当たらないよう、所定の乾燥時間を厳守してください。
○鉄さび・シーリング材などが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が十分に発揮されません。各シーリング材は可塑剤の含まないノンブリードシーリングをご使用ください。
○既存塗膜の剥離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
○弾性系塗材や複層仕上塗材で、軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業系サイディング及び発泡ウレタンなどを使用した高断熱型外壁に塗装する場合は、蓄熱されたり、水の影響や下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることでパネルの変形や塗膜の膨れ、剥がれなどを生じることがあります。ご採用にあたっては、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
○改装工事に溶剤形の下塗材をご使用の場合は、溶剤などの影響により旧塗膜を侵し、膨れ、ちぢみなどの異状が発生することがあります。試し塗りにより確認の上、本施工に入ってください。
○防かび、防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、防かび、防藻性が十分に発揮されない場合があります。
○かびや藻が付着している場合は、「ＳＫＫカビ除去剤＃５（塩素系）」にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
○所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
○塗り重ね時間は環境（温度、湿度、換気、風通しやすさ）や膜厚によって変わります。
○低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
○補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
○補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈量等を決定してください。
○刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りと仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じることがあります。
○シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により塗膜が密着しないことや汚染することがあります。
○間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
○陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行なってください。
○塗膜の膨れ、剥がれ、白化の発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
○最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生、艶引けなどにつながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
○著しく結露を生じるような場所では、しみが発生することがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装を行う場合は、強制換気の上、溶剤形塗料での塗装を推奨いたします。
○結露等によりしみが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
○強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上での施工は原則的に避けてください。気温5℃以下での施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
○材料は使用前に内容物が均一になるように十分に撹拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所にて保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
○性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。

SK KAKEN
エスケー化研株式会社
URL https://www.sk-kaken.co.jp

本　　社　大阪府茨木市中穂積3−5−25 ☎072-621-7733
東 京 支 社　東京都新宿区高田馬場1−31−18 ☎03-3204-6601　国際事業本部 ☎072-621-7727

札 幌 支 店☎011-784-4000　千 葉 支 店☎043-304-0411　名古屋支店☎052-561-7712　神 戸 支 店☎078-671-0451　福 岡 支 店☎092-629-3427
仙 台 支 店☎022-259-2431　埼 玉 支 店☎048-686-2391　京 都 支 店☎075-646-3967　広 島 支 店☎082-943-5043
東 京 支 店☎03-3204-6601　横 浜 支 店☎045-820-2400　大 阪 支 店☎072-621-7721　高 松 支 店☎087-865-5411

旭川営業所 ☎0166-51-8094　水戸営業所 ☎029-251-6515　横浜営業所 ☎045-820-2400　三重営業所 ☎059-254-3777　松山営業所 ☎089-958-3780
仙台営業所 ☎022-259-2431　宇都宮営業所 ☎028-657-5555　横浜住宅開発営業所 ☎045-820-5525　大阪営業所 ☎072-621-7722　北九州営業所 ☎093-621-8505
仙台住宅開発営業所 ☎022-388-8518　東京第一営業所 ☎03-3204-6601　厚木営業所 ☎046-294-3666　大阪住宅開発営業所 ☎072-621-7747　福岡営業所 ☎092-622-5561
青森営業所 ☎017-762-3855　東京住宅開発営業所 ☎03-3204-6602　静岡営業所 ☎054-284-1877　南大阪営業所 ☎072-253-1910　福岡住宅開発営業所 ☎092-622-5562
盛岡営業所 ☎019-654-8380　千葉営業所 ☎043-304-0411　浜松営業所 ☎053-462-7021　神戸住宅開発営業所 ☎078-686-0520　大分営業所 ☎097-555-9081
郡山営業所 ☎024-962-7673　千葉住宅開発営業所 ☎043-304-0413　三河営業所 ☎0564-28-1614　姫路営業所 ☎079-281-5311　長崎営業所 ☎095-887-0871
新潟営業所 ☎025-285-6551　埼玉営業所 ☎048-686-2391　北陸営業所 ☎076-266-1041　岡山営業所 ☎086-242-5520　熊本営業所 ☎096-344-5650
群馬営業所 ☎027-280-5350　埼玉住宅開発営業所 ☎048-686-1586　名古屋営業所 ☎052-561-7712　広島営業所 ☎082-943-5043　鹿児島営業所 ☎099-284-5321
長野営業所 ☎026-239-6210　城東営業所 ☎03-3877-7770　名古屋住宅開発営業所 ☎052-589-8783　広島住宅開発営業所 ☎082-943-5053　宮崎出張所 ☎0985-61-7779
松本営業所 ☎0263-24-2677　三多摩営業所 ☎042-564-5806　岐阜営業所 ☎058-273-1981　山口営業所 ☎083-924-7575　沖縄営業所 ☎098-862-5041

大利根工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

特約販売店

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。
特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

［製作年月：2019 年 11 月］（191110.YO-2）